昭和60年3月15日　第337号

広報えびな

市の木つげ　市の花さつき

発行・海老名市役所・海老名市国分155／編集・秘書広報課／電話・31－2111（代）／〒243-04　毎月1日・15日発行

◇大字紹介◇

勝瀬（かつせ）　勝瀬は、昭和17年相模湖の底に沈んだ津久井の村落。当市に集団移転し、地名もそのまま用いる。

図書館・教育センター4月1日開館

きみは何冊の本を読めるか

ここがとってもおもしろいのよ。ワァーほんと…。

図書館と教育センターが、文化会館や総合福祉会館の隣りに建設され四月一日に開館します。この建物は鉄筋四階建てで、一、二階が図書館。三、四階が教育センターで、プラネタリウムも設置されています。三階の一部には、既に青少年相談所が入り、相談業務を開始しています。

＝関連記事二・三面に＝

プラネタリウムは85席

建設費は12億円

市民が待ちに待った図書館と教育センターが完成し、いよいよ四月一日に開館します。

図書館と教育センターは、同一の建物に併設され、文化会館や総合福祉会館の隣りの通称〝文化施設ゾーン（地域）〟に建設されました。住所は上鍋四七四の四です。

同館は、鉄筋コンクリート造り地下一階、地上四階で、地下一階から二階までが図書館、三、四階が教育センターとなっています。四階の丸いドームはプラネタリウムです。また、青少年相談所も三階に入りました。なお、同相談所は去年の十二月二十七日から、他の施設に先がけて、この建物内ですでに相談業務を開始しています。

建設工事は、五十八年九月から始まり五十九年の十一月までかかりました。その費用は、建築費が十億九千万円、備品費を入れると総額約十二億円になりました。

図書館は「市民の教養の場」としての文化の中核的施設、教育センターは「教育の燈台」として次代を担う子供たちの、より実践的教育に期待が寄せられています。

沿革

海老名市の図書館は、三十七年四月旧庁舎（現在の郷土資料館である温故館）の一部を利用して発足した。その後、利用者の急増に対応するため四十二年に旧中央公民館の一部に移設。五十五年には新中央公民館の完成により独立の図書館となった。

しかし、もともと手狭なうえ、県内一の人口急増都市のため図書館としての機能を十分に果すことができず五十七年度から三か年事業として建設に着手。六十年三月完成、同年四月に開館予定。

一方、教育センターは、その前身である教育研究所が旧中央公民館内に設置された。同館が図書館として独立した後も図書館内に併設されてきた。六十年四月、同研究所の充実を図り教育センターに改称し、新設された教育センターに移設する。

身障者の利用も

図書館の館内の特色は、一階の開架閲覧室が二階まで吹き抜けになっていて、三方向は窓ガラスで採光に配慮されていることがあげられます。また、全館、機械化が進み、コンピューターを導入して省力化を図っています。

そのほか、身体障害者の方でも安心して利用できるように、点字ブロック、自動ドア、低い書架、広い書架間隔、対面朗読室など細かい配慮が随所に見られます。

閉館時間についても、水曜日から金曜日までは二時間延長して、午後六時五十分とし、勤め帰りでも利用できるようにしました。これ以外の曜日の閉館は午後四時五十分です。

図書館では、郷土資料や地方行政資料などの資料収集のほか、レコード、フィルムなどの視聴覚教育の資料の収集にも力を注ぎました。

教育の拠点に

教育センターは、従来の教育研究所の充実を図って教育センターに改称したもの。教職員の研修として実験・実技などと同時に問題行動や障害を持っている子供の教育に関する研修なども行われます。また、教育調査研究や教育相談なども行います。

この他に理科研修室や教育関係の資料室、プラネタリウム、天体観察場なども設置しています。

4月の相談

市民相談室
市役所一階案内隣り（☎33・四一〇〇直通）
一般……日曜・祝日を除く毎日
法律……3日（水）・17（水）・24日（水）午前10時～午後4時
登記……11日（木）午後1時～4時
人権……12日（金）午後1時～4時
住宅……13日（土）午前9時～正午
年金……16日（火）午前10時～午後3時
宅地建物……20日（土）午前9時～正午
行政……26日（金）午後1時～4時

社会福祉協議会
市立総合福祉会館（☎31・四一二二）
高齢者の職業……日曜・祝日を除く毎日午前9時～午後4時（土曜は正午）▽対象…おおむね65歳以上の方▽内容…職業・生活相談
ボランティア……毎週火曜日午前9時～午後4時▽内容…ボランティア活動やその派遣。
教育……日曜・祝日を除く毎日午前9時～午後4時（土曜は午前11時）▽申し込み…電話で教育センター（☎33・七七一）
就学……毎週土曜日午前9時～11時、教育委員会指導室▽申し込み制…電話で同室（内246）
青少年……日曜・祝日を除く毎日午前9時～午後4時（土曜は午前11時）、教育センター▽対象…20歳未満の本人、または保護者▽問い合わせ…青少年相談所（☎32・一〇一一）

コンピューターで探す

図書館はコンピューターの導入などによって、その受付事務の省力化や図書案内などのサービスが充実されます。蔵書数も旧図書館と比較して三倍の約九万冊でスタートし、将来は十七万冊になる予定です。このほか、郷土資料や行政資料を収蔵した参考図書室や映画・スライド・ステレオ放送のできる視聴覚室など専門的分野での充実も図られます。一方、自動車文庫についても、その蔵書数を増やして四月十六日から再開されます。

コンピューターで受付

一階の主な施設は次のとおりです。

〈開架閲覧室〉

間仕切りのない広いスペースに書架が置かれ本が並べてあります。利用者が直接手に取って自由に選ぶことができます。

一般図書と子供の本コーナーに大きく分かれ、一般図書コーナーには約四万五千冊の本とレコードプレーヤー、カセットデッキを置いた「試聴コーナー」があり、自分で選んだレコードやカセットテープをヘッドホンを使って音楽鑑賞ができるようになっています。

子供の本コーナーは、幼児から中学生までを対象とした本が約一万冊収容でき、「よい子のへや」では定期的なおはなし会や紙芝居が行われます。

一階の窓の下には、雑誌架が置かれ、ソファー十八席とテーブルが用意されていて、雑誌や新聞を読むことができます。大きな広い窓からさし込む自然の光で、快適な読書ができるように配慮されています。

〈受付〉

コンピューターが導入され、図書の貸し出しや返却手続きが行われます。手続きの時間も大幅に短縮されます。

また、読みたい本が見つからないときは、「リクエスト（予約）カード」に記入しておけば、貸し出し中の本が返却されると連絡をしてくれます。

コンピューターの受付で時間も短縮

〈対面朗読室〉

目の不自由な方の希望に応じて朗読サービスを行います。

視聴覚室（映画放映などの）

二階の主な施設は次のとおりです。

〈参考図書室〉

行政資料や郷土資料、参考図書、地図など約二万冊が収蔵できます。これらの図書を使用して調査・研究するための部屋で、座席数は十八席あります。貸し出しはできませんが、複写サービスを有料で行っています。

〈一般閲覧室と子供読書室〉

貸し出した図書を閲覧できるように、一般閲覧室には座席が四十用意されています。また、子供たちのためには独立した部屋に座席十五を用意して子供読書室としています。

〈視聴覚室〉

十六ミリ映画、スライドの映写やステレオ放送などができるようにされています。最新の設備が設置されています。

演台から各種装置を操作できるようになっていて、スクリーン、黒板、暗幕用カーテンなどは全て電動式です。

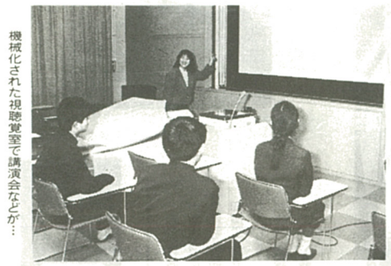
視聴覚室の裏には、視聴覚機材保管庫があり、貸し出し用の八ミリや十六ミリフィルム、映写機などが保管されています。保管されているハ・ミリフィルムは四十五本、十六ミリフィルムが百七十本あります。この保管庫は映写室も兼ねています。

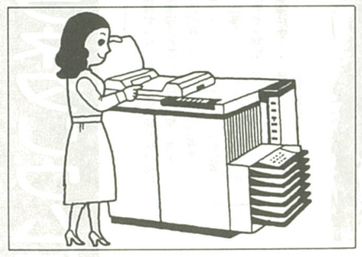
〈喫煙コーナー〉

読書の息抜きや軽い団らんのコーナーです。図書館で喫煙できるのは、ここだけです。

そのほか、二階は、事務室や会議室があります。

広い窓の下のソファーで読書


機械化された視聴覚室で講演会などが…


参考図書室では有料のコピーサービス

開館時間を延長

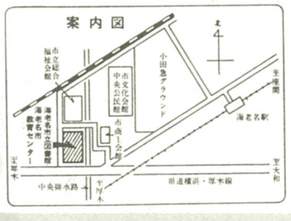
図書館の開館時間は、日・火・土曜日が午前九時から午後四時五十分。水曜日から金曜日までは閉館時間を一時間延長して午後六時五十分です。ただし、中学生以下の場合は午後四時半までです。

図書館の休館日は月曜日と祝日（当日が月曜日のときは、その翌日）、館内整理日（毎月末日）、十二月二十八日から翌年一月四日までとなっています。

子供たちだけの独立した部屋で、楽しい読書

図書館の記念行事

申し込み・問い合わせは
図書館（☎31・5152）へ。



月日	曜日	内容	対象	時間	場所	申し込み	備考
4月2日	火	おはなし会（おはなし、紙芝居）	4歳～小学2年 25人	①11:00～11:30 ②14:00～14:30	よい子のへや	TEL 先着順	
3日	水	映画会(16mm)	小学生 80人	14:00～15:00	視聴覚室	〃	干潟の詩 南極犬タロ
4日	木	おはなし会（おはなし、紙芝居）	4歳～小学2年 25人	①11:00～11:30 ②14:00～14:30	よい子のへや	〃	
6日	土	おはなし会（おはなし、紙芝居）	4歳～小学2年 25人	①11:00～11:30 ②14:00～14:30	よい子のへや	〃	
		映画会(16mm)	親と子 80人	15:00～16:00	視聴覚室	〃	南極犬タロ 彦一とんちばなし ターくんのぼうけん
7日	日	映画会(16mm)	親と子 80人	10:00～11:00	視聴覚室	〃	やあやあコアラ君 一休さん くまの子ウーフ
			一般 80人	14:30～15:30		〃	日本のこころ－富士山－ サイエンスグラフィティ 白鳥たちよ永遠なれ

読みたい本

走る図書館 自動車文庫

図書館から離れた地域を二台の自動車文庫で定期的に巡回し、図書の貸し出しを行います。図書館サービスを提供するために、図書などの各種資料を運ぶ「車に乗った小さな分館」です。

自動車文庫は去年七月から新しい図書館準備のため休んでいましたが四月十六日（火）から巡回を再開します。

自動車文庫の蔵書数も大幅に増加しました。旧図書館のときは一万四千冊でしたが、新図書館になってからは、二万一千冊となり、二台の自動車（ワンタン号、ムスティー号）に千八百冊の本を乗せて巡回します。

巡回場所・日程などについては四月一日号の「広報えびな」でお知らせします。

また、自動車文庫で貸し出しの登録をされた方は、本館の図書貸し出しにも利用できます。返却についても同様で、本館か自動車文庫のどちらでもできます。

自動車文庫も内容を充実して再開へ…

地下は閉架書庫

地下は上下二重構造の閉架書庫となっています。ここには約九万三千冊の図書が収容できます。

おことわり

「資料紹介」については今回は紙面の都合上、お休みします。次回は四月十五日号に掲載。

貧弱さに驚き…そして…新図書館に期待

さつき町　吉良　純子（28歳）

横浜市から主人の仕事の関係で、海老名市に住みいらい、ほんの感じたことは、図書館の貧弱さで、大変なショックでした。市の発展ぶりと考え合わせてみても、こういった文化面でかなり遅れている市だ、というのが実感でした。

四月から新しい図書館が出来、蔵書も増え、コンピューター化されると聞きホッとし、また大変楽しみにしております。

図書館の本が文化の全てだとは申しませんが、文化レベルにかなりの影響を及ぼすと思います。

横浜の港北図書館に子供用の絵本コーナーがありました。お母さんが借りる本を探している間、そこでおとなしく本を読んでいる子供の姿を見つけました。ほほえましく、何かとその子供が心優しく、かつ物事を考えることのできる人間に育つに違いない、なと思われ私まで高ち足りた気持ちにさせられました。

新しい図書館に今後、海老名市をになってゆく子供たちや青少年の読む本もたくさんあり、それを市民が活用すれば、少々短絡的ではありますが、この市の未来が健全なものであるような気がいたします。

貸出券の登録

登録対象　市内在住・在勤在学の人、または、それらの方で構成している団体。

登録手続き　利用者登録を行うためには、本人の住所が確認できる身分証明書、学生証、健康保険証、運転免許証、登録者あての手紙など、そのいずれかが必要です。

なお、小学生は通学用の名札でもよいです。

〈図書の貸し出しの場合〉

図書貸出登録票に必要事項を記入して、貸出券を受け取ってください。

自動車文庫を利用する場合も共通の貸出券となります。

登録は一人一回だけです。券を折りまげたり、なくさないようにしてください。

〈視聴覚資料の貸し出しの場合〉

視聴覚ライブラリー登録申請書に必要事項を記入して、登録証を受け取ってください。この際、申請者の印鑑が必要になります。印鑑はなくてもよいようにしてください。

貸し出しの冊数と期間　図書の場合は一人三冊まで、二週間以内借りられます。視聴覚ライブラリーの場合は、映写機および付属品など機械一回につき一台、または一式で一週間以内借りられます。映写フィルムが一回につき五本以内で一週間以内借りられます。すべて費用は無料です。

あらかじめ電話などで予約される場合は、登録番号、氏名、フィルム番号、題名、利用期日などお知らせください。問い合わせは図書館（☎31・五一五二）へ。

美しい星座の世界に子供たちの夢はしる

教育センター・子供に夢と希望を与え…

教育のありかたを研究

教育センターの主な施設は次のとおりです。

プラネタリウム

プラネタリウム室はセンターの四階に設置され、収容人員は八十五人です。季節の太陽、月、惑星の動きや星座など天体に関する学習、研修を行います。

利用方法は、学習用投映（小学生四、五年と中学生一年を対象に理科学習、天体学習講座用投映（教職員の天体学習の研修）、一般投映があります。

一般投映は、団体投映（五人以上の団体単位で申し込み制。四月より受付、料金は無料）と公開投映（夏休み期間中、時間を定めて「夏の星座と惑星めぐり」を放映、料金は無料）があります。

研修室など

教育の実践をより確かなものにするための研修や実験が行われます。そのための施設として研修室が設置されています。

研修室は三つあり、第一研修室は収容人員三十六人、第二研修室は六十三人で、各種の講演、講義、研究などに使用されます。

理科研修室は、小・中学校の教員の理科の実験・研修と小・中学生の理科学習に使用されます。収容人員は四十二人です。そのほか理科準備室などもあります。

6500個の星を映すプラネタリウム

教育相談室

登校拒否・進路・性格・学習などの教育上の悩みについて相談に応じます。

相談日は平日は午前九時から午後四時まで。土曜日は午前九時から午前十一時まで。申し込みは電話で教育センター（33）七七七一へ。

教育センターの記念行事

プラネタリウム投映

内容　「宇宙への旅立ち」
期間　4月1日（月）～7日（日）
場所　プラネタリウム室（4階）
時間　①10：00～10：30
②11：00～11：30
③14：00～14：30
④15：00～15：30
対象　一般（席数85）
入場方法　自由

ミクロの世界

内容　顕微鏡による微生物などの観察
期間　4月1日（月）～7日（日）
場所　理科研修室（3階）
時間　10：00～15：30
対象　一般
入場方法　自由

海老名の"表玄関"を美しく

市内2駅に美化啓もう標示板を設置

駅周辺からゴミをなくそうと市と市美化運動推進協議会（福島宗一会長）は一月十八日に海老名駅前広場で、二月二十二日に厚木駅で、線路ぎわにそれぞれ美化啓もう用標示板を設置しました。

海老名、厚木両駅は一日平均約十万人の乗降客が通過するいわば"市の表玄関"。しかし、一部の心ない人たちによるタバコやゴミの投げ捨てが後をたちません。

そのため、市と市美化運動推進協議会は、駅周辺の清掃などを通じて美化を呼びかけてきました。今回の標示板設置もその一環として行われたものです。

標示板は表面をスリップ防止加工したアルミ板で、黄色地に黒、白色で標語が書かれてあります。海老名駅前広場には、なげ捨て まって!!」と書かれた十三枚の標示板（30×45㌢）がバス停留所やタクシー乗り場などの路面に市職員の手によって設置、また厚木駅ご線橋（国鉄相模線をまたぐ陸橋）には、地元さつき町老人クラブ若葉会（市夾之純会長、会員56人）が「ありがとう　われらの行く道　通り道」とかかれた二十枚の標示板（10×100㌢）を階段の段差面に設置しました。

市内各駅周辺はボランティアの手によって清掃が行われています。ご線橋・さつき町方面を若葉会が、また県道側方面を河原口の老人会が定期的に清掃を行っています。これらの人々の善意に報いるためにも、公共の場はみんなできれいにしたいものです。

なお、海老名駅前広場には日本専売公社厚木営業所から寄付された五個の灰皿も設置され、「タバコの投げ捨てが少し減ってきたのでは…」という声も聞かれました。

「ゴミのないきれいな海老名」を実現するため、市民のみなさんのご協力を重ねてお願いします。

若葉会の清掃活動（厚木駅ご線橋）

物を置かないで！

道路はみんなのものです

道路は、住居と同様、生活の基本的な場で、常に安全な通行やその他の機能を合理的に果たせるようにされなければなりません。

ですから、道路管理者（市道の場合は海老名市）所轄警察署の許可なく路上に物を置いたりすることは、もちろん禁じられています。

しかし、最近、地域経済の発展とともに立看板や店先に商品を積み上げたりする例が多くなり、市では安全な通行のため、撤去をお願いしています。

特に歩道でこうしたことが多く、極端な場合は、歩行者がそれを迂回するため車道に出るようなこともあり、たいへん危険です。

道路はみんなのものです。だれもが安全で快適に通行できるようご協力ください。

問い合わせは、建設総務課（内565）へ。

美化活動で県知事表彰

石井さん（本郷）ら6個人3団体

県内の美化活動に功績のあった個人、または団体を表彰する「昭和五十九年度県美化運動推進功労者」の表彰式が、知事表彰については二月十五日に横浜の県住宅供給公社で、また知事感謝状については二月二十一日に相模原の県高相合同庁舎で行われ、それぞれ県副知事、県央地区行政センター所長から表彰状などが被表彰者に手渡されました。

市内では、自宅近くのゴミ集積所とその周辺の清掃を十九年近くも続けている石井ミエ子さん（本郷、55歳）と自宅近くの通学路や下水の清掃を十五年近くも続けている小川福重さん（大谷、72歳）ら六個人三団体が表彰されました。

○被表彰者　（敬称略・順不同）

〈知事表彰状〉

石井ミエ子、小川福重、本郷長寿会（米山唯雄会長）、杉久保団地自治会（木村進会長）、門沢橋こどもぎ会（青木周蔵会長）

〈知事感謝状〉

清水登美子（社家、65歳）、大野新一（中新田、68歳）、萩原松三（柏ケ谷、67歳）、末次義正（国分、56歳）。

体育施設の抽選会

体育施設六・七月分の抽選会を行います。

①上郷スポーツ広場、小田急グラウンド――四月一日（月）②下今泉テニスコート――四月五日（金）③運動公園テニスコート――四月十日（水）④学校体育館――四月十五日（月）⑤夜間照明施設――四月十五日（月）⑥運動公園野球場――四月一十五日（木）④を除き、いずれも午後六時～六時半受付、六時半抽選開始。④は六時半から日程調整開始。会場は市立中央公民館。対象は①が市内在住在勤者と構成され、その所在が市内に勤務する団体の代表者、②が市内在勤者で高校生以上一般、③高校以上一般、④～⑥が登録団体。申し込みは当日必ず受付時間内に会場へ。ボールペンと印鑑、③⑤⑥は使用料、③は市内二時間四百円、市外二時間二千円、⑤は一時間千円、⑥は一時間千円、照明料は一時間四千円。④⑥は登録証も持参すること。

問い合わせは体育課（内56）へ。

住宅相談を新設

市民相談室のご利用を

市建築職組合（代表高橋衛、組合員85人）のご協力で四月から毎月第二土曜日の午前九時から正午まで、新築、増築など住宅に関する相談を受け付ける「住宅相談」を開設します。

また現在月一回の「法律相談」を三回にし、相談の充実を図ります。法律相談は原則として、毎月第一水曜日・第三水曜日・第四水曜日のお休みみを除く午前十時から午後四時まで。

この他に「登記」「人権」「年金」「宅地建物」「行政」の相談があり、また一般的な相談は随時受付けていますのでご利用ください。

問い合わせは市民相談室内49または☎33・四一〇〇直通。

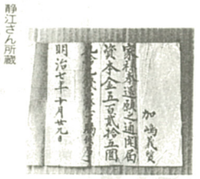
わが家の宝物

押田　静江さん所蔵

家禄奉還の書

押田静江さんは、古美術や学術上貴重な古文書などを数多く所有している。その中で、貴重で珍しい古文書が写真の「家禄奉還願之通間届」である。家禄とは武家社会において、主君が家臣に与えた俸禄のことをいう。

この古文書は、押田さんの祖父、加嶋義質が士族浦添主屋氏より得ていた家禄を奉還（返すこと）したときのもので、家禄奉還によって当時の金額で、資本金五百二十五円十九銭が下賜されている。明治七年当時の大工の一日の賃金が五十銭であった、というから下賜された資本金がいかに国分一九四五、七十四歳。



情報コーナー

催しもの

◆3月24、31日は青空市とき・ところは①3月24日（日）早朝から市役所②31日（日）早朝から柏ケ谷第一児童公園。出品予定はイチゴ、サトイモ、長ネギ、ニンジン、ホウレンソウ、ジャガイモ、カラシ菜、鉢物、鶏卵（市役所のみ）など。問い合わせは農産課（内32）。

◆生涯スポーツ指導者公開講座　3月24日（日）午前9時半～午後4時、県立県央地区体育センター。内容は午前が研修発表、午後がエアロビクス、ソフトなどの指導法。対象はスポーツ指導者午前、午後各100人。申し込みは電話で県立県央地区体育センター（☎47・七二一一）。

募集

◆中心学園保母助手　①中心学園寮保母助手一人。勤務時間は午前9時～正午。経験学歴は不問。②同学園幼児寮保育保母助手一人。勤務時間は午前11時～午後四時。保母有資格者に限る。①②とも時給600円。申し込みは3月30日までに履歴書を持参して中心学園（上今泉四・八一五四）へ。

◆学童保育の児童　①学童保育ありんこクラブ（久田妙子代表　国分三五九一一）では、4月からの保育児童を募集しています。また、短期保育も行っていますのでご利用を。対象は市内の小学生。保育料は、おやつ代含め月9千円、短期保育は一日千円。申し込みはありんこクラブ（☎33・〇〇七）、または久田妙子（☎32・八三九四）。②社家・門沢橋に学童保育を作る会（重松田起子代表　門沢橋九五三の一）では、4月から発足する学童保育の児童を募集します。対象は門沢橋小・社家小在学の児童。詳しくは午後7～9時の間に重松（☎38・四五九〇）へ。

◆海青館少年剣道部・初心者教室の参加者　少年剣道部の練習日・場所は毎週土曜日午後3時半～5時、県立海老名青少年会館。対象は小学3年～中学3年。会費は月千200円。初心者教室は4～9月の間の毎週土曜日午後2時半～3時半、県立海老名青少年会館で。対象は小学3年～6年の初心者20人。会費月千円。申し込みはいずれも県立海老名青少年会館（☎31・九七八七）。

◆海青館男子生　対象は学校教育法に定められた高校、専修学校、高等専門学校、大学への就学が経済的理由で困難な方。資格は市内在住の青少年で学業成績が優秀、身体が健康で性行が善良な方。奨学金は年額で高校が5万円以内、高等専修学校が8万円以内、高等専門学校と短期大学が10万円以内、大学が20万円以内。募集期間は4月6日まで。申し込みは市役所東口第一有料自転車駐車場内（50台分）。料金は一日一回100円。問い合わせは生活環境課（内38）へ。

☆5面へ続く

税の作文コンクール

"税金"の意味が理解できました

今泉中（3年）の三重さんが入賞

このほど「第十八回中学生の税に関する作文」コンクールで、今泉中学校三年の三重久美子さんが優秀賞に選ばれました。同作文の公募は、全国の中学生を対象に税に関する理解を深めてもらうため、全国納税貯蓄組合連合会が去年の夏に行ったもので、市内からは六十人が応募しました。入賞した三重さんの作文は、祖母の年金や、税金で建てられた市内の公共施設を例に、"なぜ納税が必要なのか"を訴えたもの。感謝状と記念品は二月二十一日、今泉中学校で厚木税務署管内納税貯蓄組合連合会長の小島民喜氏から三重さんに手渡されました。三重さんが書いた「税金と生活」を紹介します。

優秀賞を受賞した三重さん

税金と生活

三重　久美子

私の祖母は現在七十七歳で、祖父が亡くなってからは、叔父、叔母と住んでいます。六十五歳のときに初めて年金を手にしてから十二年間、年四回、自分のところに届くお金を楽しみにしています。

しかし、お金はとても少ないので、叔父や叔母の手助けも必要になるのだそうです。そんな祖母から小包みが届くと、こんなうれしいことはないのです。

私の家の近くには、「老人ホーム」という福祉の施設があります。そこでは、ボランティアの人たちや市の役員のかたたちが、寝たきりの人の世話をしたり、人形、ペーパーフラワーなどの作り方を教えたり、できた作品をバザーで販売したりする活動をしています。また、寝たきりの人のための入浴サービス車もこの施設を訪れています。

これらのことは、税金が「福祉」という大きな役割に活用されている証拠ではないでしょうか。

市内では都市化を進める反面、緑を残そうという声に基づいて、小さいながらも自然公園ができました。また駅前には市民のいこいの場として、公園もできました。図書館も完、建築中です。

このようなことを通して、公共の建築物や木一本一本にも税金という大きな組織が働いていることを知りました。

私の家は児童館です。毎日、たくさんの人がここに来て遊んだり、会議をしたりしています。もちろん、税金で建てられた公共物なのですが、あまりたいせつに扱われていません。自分たち、またはその父母の手で納められた税金で建てられたものです。もっと、たいせつに扱ってほしいものです。

その他にも、私たちの生活の向上と安定のためにいたるところで、たくさんの税金が利用されているのです。たいへん素晴らしいことです。

そういうような、素晴らしくまたとても豊かな環境の中で、私たちは生活をしてきました。これからも私たちは、今度は自分の手で生活を向上させる番です。

何年先になるかわかりません。しかし、いずれ私たちも税金を納めるようになります。その時は、もっとよりよくするために、また自分のために有効に使われるように、そして私たちの生活がもっと豊かになるように願って納めたいと思っています。

仲間の問い

公民館講座

ホーム・ヨーガ　OB会

健康維持に最適

"健康維持に、ストレス解消に最適。他人の力を借りず、自分で出来る範囲でする「ホーム・ヨーガ」が人気だ。

五十八年、五十九年と二年連続して市立中央公民館でホーム・ヨーガの講座が開かれ、定員三十人をはるかに超える申し込みがあった。講座終了後、講師の中川洋子さん（ヨーガを迎えて「ホーム・ヨーガOB会（梅志田英江代表、会員45人）」を去年十二月結成した。

ヨーガは体の大掃除!?

ヨーガはインドで生まれ、中国を経て日本に伝わった。前屈・後屈・ねじるの三つの基本動作に腹式呼吸で血液の循環をよくし、瞑（めい）想して意識を高める。〇〇のポーズと動物の名前をよく使うのは、イメージをえがきやすいからだそうだ。

練習が終わった後の感想は「体の大掃除をしたような気分になる」「サワナぶろに入ったようにさっぱりする」と会員たちは異口同音の返事。

ジャズ・ダンス、エアロビクス・ダンス、ホーム・ヨーガ……etc。女性たちはかり、健康で美しくなって、男性が取り残されてしまいそうだが、ホーム・ヨーガはせまいスペースでも出来、会員たちは家に帰って家族に教えてみんなでやっているそうだ。

会員は三十代から六十代までのすべて家庭の主婦。「ジャズ・ダンスはついていけそうもないけど、ホーム・ヨーガなら出きるのでは」という人が多い。月二回、市立総合福祉会館で練習を行っている。

新入学・新入園児に

気をつけて

4月6日～15日

春の交通安全運動

四月は新入学、新入園の季節。これらの子供たちは通園・通学にまだ慣れていません。時として突飛な行動をとることがあります。

子供を見たら"赤信号"。みんなで注意をして子供を交通事故から守ろうではありませんか。

〈重点項目は…〉

○新入学（園）児を中心とした子供の交通事故防止

○シートベルト・ヘルメット着用の徹底

○二輪車を中心とした無謀運転の追放

……訂　正……

三月一日発行の本紙二面で紹介した国鉄相模線の時刻表で、厚木駅発茅ヶ崎行23時39分とあるのは、厚木駅ごまりの誤りでした。

第24回

県身体障害者スポーツ大会

とき・ところ・申し込み期限＝下表参照／参加資格・県内に居住する16歳以上の身体障害者（内部障害者は除く）／当日はバスの送迎あり／応援も大歓迎／申し込みは福祉課（内451）。

競技会	期日	会場	締め切り
陸上競技会	6月2日(日)雨天時は6月9日(日) 9：00～	県立藤沢体育センター陸上競技場	4月10日(水)
卓球競技会	7月7日(日) 9：30～	同体育館	5月22日(水)
水泳・洋弓・盲人卓球競技会	7月28日(日) 9：30～	県立七沢リハビリテーションセンター	6月12日(水)

市役所から

◆固定資産課税台帳の縦覧　市内に固定資産をお持ちの方は、この機会にご覧ください。縦覧期間・場所は4月1日～20日午前8時半～午後5時（土曜日の午後と日曜日は除く）、資産税課（内35）。

◆一時使用の自転車駐車場のご利用を！　市では、自転車利用者のみなさんから要望があった自転車駐車場の一時使用制度を、4月1日から設けます。

込みは①奨学金給付申請書（用紙は教育委員会）②最終出身学校長の発行する成績証明書と人物調書③保健所長の発行する健康診断書を用意し市教育委員会指導室（内246）。問い合わせは同室へ。

◆不燃物選別委託業者　高座清掃施設組合では不燃物選別委託業者を一社募集します。資格は座間市、綾瀬市、海老名市に在住の者、もしくは事業所がある業者。受付は3月18日～23日。詳しくは高座清掃施設組合（本郷一番地、☎38・二〇九四）へ。

◆市政モニターOB会員　過去に市政モニター経験の方でご希望の方は役戸（☎32・一八六八）まで。

◆海老名キッカーズ会員　資格は市内在住・在学の男子で、四月以降小学2～5年生各3人と6年生10人（保護者の承諾のある方）。練習日は土・日・祝日を中心に月6回程度、大谷小グラウンドで。申し込みは3月25日までに石倉輝夫（☎31・六七九二）。電話は午後8時以降に。

◆宝くじで防災対策　このほど自治総合センターから宝くじ普及広報事業の一つとして助成金が交付され、市では、防災対策用としてテントなど9品目45点を購入しました。

場所は海老名駅東口第一有料自転車駐車場内（50台分）。料金は一日一回100円。問い合わせは生活環境課（内38）へ。

〇楽しいコーラス広場　4月23日～10月15日の間の毎週火曜日午後6時半～8時半。フォークソングから合唱曲まで発声やコーラス指導を受けながら、仲間と楽しく歌う二期間中いつからでも参加可。対象は高校生以上の青少年・一般20人。申し込み制。

〇少年少女アコーディオン教室　4月23日～10月15日の間の毎週火曜日午後3時半～4時半。指の動かし方から簡単な曲が弾けるまで。対象は小学3～6年生15人。申し込み制（4月5日から受付）。

〇少年少女合唱教室　4月26日～10月18日の間の毎週金曜日午後3時15分～4時15分。正しい声の出し方と合唱を楽しく学ぶ。対象は小学1～2年生40人。申し込み制（4月5日から受付）。

〇少年少女書道教室　4月24日～10月16日の間の毎週水曜日午後3時半～5時。毛筆の手ほどき、筆の持ち方から簡単な漢字まで。対象は小学3～6年生20人。申し込み制（4月5日から受付）。

県立海老名青少年会館

さつき町51番地

☎31・九七八七

申し込み・問い合わせは必ず県立海老名青少年会館へ。毎週月曜日休館日。

公民館だより

市立中央公民館
上郷476の2
☎32－3231

行こう・学ぼう みんなの公民館

四月二十日(土)・二十一日(日)　午前九時～午後四時、市立中央公民館・総合福祉会館。内容は絵画・書道・手工芸の作品展示、ヨーガ公開練習　鉄道模型の実演、料理部門のバザーなど。

第3回公民館まつり

4月20・21日

去年開かれた第2回公民館まつり

受講者募集
「郷土を学ぶ」
―公民館講座―

市民のみなさんの日常生活に最も身近な問題を、市長や市幹部職員が講師になって詳しくお話します。よりひろく、よく深く市政を知る機会ですので、ぜひ、ご参加ください。

▽開講日＝下表参照　▽開講時間・場所＝午前十時～正午、市立中央公民館　▽対象・人員＝市内在住者四十人　▽申し込み＝往復ハガキに住所・氏名、電話番号を記入して四月十日までに市立中央公民館（上郷四七六－二　☎32・三三三一）。

月日	内容
4月17・24日	市の財政状況
5月1日	市の環境衛生
8日	市の農業
15日	市の環境保全
22日	市の教育
29日	市政
6月5日	高座清掃施設組合見学

☆洋裁OB会　毎月第二・第四月曜日午前十時～正午、市立中央公民館。ただ今キュロット・スカート製作中。
連絡先は平野（☎31・七六七九）か藤巻（☎33・〇六八六）へ。

"地球"まるかじり
第三期市民教養大学講座

一月から始まった第三期市民教養大学講座は、今までと少し趣を変え、「地球の話」と題し、地球の歴史や構造、資源など科学的な内容を学習しています。

地震、雷…と怖いものの代表にされている地震ですが、意外と正しい知識は知られていないようです。地震と地球の温度や火山との関連など少々固い話にも関らず、主婦を含む四十人の受講生は熱心に講義に聞きいっていました。

講座に参加して

今回の講師は、「地球物理学」を専門とされている方々で、内容がわかりやすく、まさに得がたい講義の連続でした。

例えば、第六回は萩塚進先生の担当でしたが、海底資源の探査から海洋のプレートテクトニクス説が検証されたこと、地上の資源にまさる海底資源として、近年世界的に注目されつつある熱水鉱床が発見されたことなど、ホットな知識を得ることができました。

機会があればまた積極的に参加したいと思います。

苗田一丁目（分国分寺台三丁目）

4月の文化会館

（ホール）

日(曜)	内容	開演	終演	入場方法	主催者
1(月)	スプリングコンサート	15:00	18:30	自由	県立大和高校 (74)0026
3(水)	吹奏楽部定期演奏会	13:00	16:00	自由	光丘中学校吹奏楽部 (61)1120
4(木)	木馬座ぬいぐるみ劇場「眠り姫・マッチ売りの少女」	11:30 14:30	13:30 16:30	A席 2,500円 B席 1,500円	㈱劇団木馬座 03(264)0411
5(金)	東映まんがまつり「キン肉マン他」	11:00 14:00	13:15 16:15	割引 700円 当日 800円	東映㈱ 03(561)0292
6(土)	第5回スプリングコンサート	17:30	19:30	400円	座間吹奏楽愛好会 0427(73)3579
7(日)	箏曲演奏会	11:00	19:00	自由	由香和会 (31)8768
14(日)	人形劇「ヘンゼルとグレーテル」	14:00	15:40	前日 A席1,600円 B席1,300円 当日 A席1,300円 B席1,000円	劇団こぐま座 03(382)3661
21(日)	新日本舞踊富月流新作発表会	11:30	18:00	自由	富月舞踊教室 (32)8844
26(金)	二葉百合子ショー	18:30	20:30	S席 3,000円 A席 2,000円 B席 1,000円	㈱東京音芸社 0422(48)4561
28(日)	ピアノ発表会	13:00	16:00	自由	田中美智子 (31)5528
29(月)	近衛杏バレエ教室発表会	14:00	15:30	自由	近衛杏バレエ教室 (31)1310

（展示室）

20(土) 21(日)	公民館まつり発表展示	9:00 9:00	17:00 16:00	自由	市立中央公民館 (32)3231

○問い合わせは主催者に。　○関係者だけの催しは掲載していません。
○主催者の都合で変更になる場合もあります。　○今月の休館日は2・9・16・23・30日です。
市文化会館（上郷476の2 ☎32-3231）

プレイ・ガイド

ファミリーコンサート
窓ぎわのトットちゃん

黒柳　徹子

特別出演　黒柳　徹子
管弦楽　新星日本交響楽団
指　揮　佐藤　功太郎

5月12日(日)午後2時開演、市文化会館。内容は黒柳徹子の語りによる音楽物語「窓ぎわのトットちゃん」、ヨハン・シュトラウスのワルツ「春の声」、赤堀文雄編曲「日本の四季」、スメタナ・交響詩「モルダウ」。入場料はA席2,500円、B席2,000円（全席指定）、団体割引あり。前売り開始は3月10日(日)午前9時から、電話予約は午後1時から。

ビリー・ヴォーン楽団

（結成30周年記念公演）
曲目　浪路はるかに、真珠貝の歌
峠の幌馬車、ブルー・ハワイ
ほか

6月5日（水）午後6時半開演、市文化会館。入場料はA席4,000円、B席3,000円（全席指定）。前売り開始は4月7日（日）午後9時から、電話予約は午後1時から。

◇主催　海老名市・市文化会館事業協会（☎32・3231）

みんなの児童館
―4月の日程―
こいのぼりの壁掛けを作ろう

社会教育指導員が各児童館を回って手作りおもちゃの作り方の指導や子供に合わせていろいろな遊びの指導をします。お子さんの来場をお待ちしています。

四月の内容は、各館一回目が「手作りおもちゃで遊ぼう」二～四回目が「こいのぼりの壁掛けと金太郎作り」です。いずれも費用は無料。申し込みは当日直接児童館へ。月曜休館日。問い合わせは社会教育課（内253）へ。

各児童館の巡回指導日は次の通り。時間はAが午前九時半～正午、Bが午後一時半～五時。

◇国分児童館　9日B・13日B・26日B・28日A
◇大谷児童館　11日B・17日B・30日B
◇国分寺台児童館　3日B・11日B・24日B
◇河原口児童館　2日B・16日B・20日B
◇上郷児童館　6日B・20日B
◇上今泉児童館　4日A・17日B・23日B
◇柏ケ谷児童館　2日A・12日B・19日B・27日B
◇勝瀬児童館　4日B・18日B・24日B・30日B
◇社家児童館　3日A・9日B・23日B
◇杉久保児童館　10日B・16日B・28日B
◇本郷児童館　5日B・19日B・25日B
◇門沢橋児童館　4日A・12日B・25日B

4月の健康あんない

予防保健課＜☎31・2111(代)＞　厚木保健所海老名支所＜☎32・7911＞

健康相談

4月8日(月)午前9時半～10時受付、市健康センター　▽対象＝成人　▽内容＝健康全般についての相談　▽申し込み＝当日、直接会場へ　▽問い合わせ＝予防保健課（内425）。

犬の登録と狂犬病予防注射

生後3か月以上の犬を対象に登録と狂犬病予防注射（一年間有効のワクチン使用）を行います。

①手数料は1頭4800円です（登録、注射料など）。
②愛犬手帳を持っている方は、必ず持参してください。
③犬を連れて来られない事情のある方は、あらかじめ獣医で注射を受け、当日その証明書を持参してください。
④すでに犬を飼っていない方は申し出てください。
⑤会場では、不要犬の引き取りはしません。
⑥犬のふんは飼い主が始末してください。
⑦会場には、注射をするときに犬が暴れないよう、しっかり押さえられるんが連れてきてください。

日程は右表のとおりです。

犬は正しく飼おう

①放し飼いは法も禁止されています。
②他人に迷惑をかけないよう飼ってください。
③道路や公園など公共の場を汚さないようにしてください。散歩の時のふんは袋などに入れて飼い主が始末してください。
④どうしても飼えなくなったら、犬をかわいがってくれる新しい飼い主を探して譲るのが良い方法ですが、新しい飼い主が見つからない場合は次の方法で引き取ってもらってください（印鑑持参）。
⑴保健所引き取り
厚木保健所＝毎週月～金の8時半～10時。厚木保健所海老名支所＝毎週火・木の8時半～10時。
⑵巡回収集での引き取り
毎月第1火曜に市内7会場で実施。各会場10分ずつ。（　）内は収集車到着時間
①上今泉児童館（9時20分）②柏ケ谷児童館（9時45分）③国分寺台児童館（10時15分）④市役所（10時30分）⑤中新田公民館（10時50分）⑥市農協南支所（11時10分）⑦門沢橋児童館（11時30分）

畜犬登録と狂犬病予防注射日程

月日	場所	時間
4月3日(水)	今里公民館	10:00～10:30
	社家児童館	10:45～11:45
	門沢橋児童館	13:00～14:30
4月4日(木)	中野公民館	10:00～10:30
	本郷児童館	11:00～11:45
	杉久保児童館	13:00～14:30
4月5日(金)	中新田公民館	10:00～11:30
	河原口児童館	13:00～14:00
	下今泉公民館	14:30～15:00
4月8日(月)	上郷児童館	10:00～10:30
	中部福祉館	11:00～11:45
	国分寺台児童館	13:00～14:30
4月9日(火)	上今泉児童館	10:00～11:30
	大谷児童館	12:45～14:15
	厚木保健所海老名支所	14:30～15:00
4月10日(水)	国分児童館	10:00～11:30
	勝瀬児童館	13:00～13:30
	国分寺台第4児童公園	14:00～15:00
4月11日(木)	東柏ケ谷5・6丁目自治会館	10:00～10:30
	東柏ケ谷3丁目自治会館	11:00～11:30
	柏ケ谷児童館	12:45～14:15
	柏ケ谷北分署前	14:30～15:00
4月12日(金)	上今泉自治会館	10:00～11:30
	海老名市役所	13:00～14:00
	海老名市農協南支所	14:30～15:00

まんまる赤ちゃん

北嶋幸太くん

中新田―七か月
北嶋幸生・恵美子夫妻の長男
お宮参りのとき、神主さんのおはらいの最中に突然この子がオナラをして大勢の人たちの注目の的になったことがあります。寝ぞうが悪く、放っておくと座敷の中をあっちこっちにゴロゴロ…。
将来はお父さんのようにスポーツ万能な男の子になってほしい。

献血にご協力を

①4月7日（日）海老名駅東口前②4月16日（火）市健康センター（市民健康の日）
①②とも午前10時～正午、午後1時～3時

☆ご協力ありがとう
2月分…海老名駅前街頭114人、雪印乳業(株)厚木工場52人、生協大谷店前53人。

乳幼児の健診と相談

事業名	月日	受付時間	会場	対象	内容	申し込み・問い合わせ
3か月児健康診査	4月25日(木)	13:00～14:00	厚木保健所海老名支所	S59年12月生まれの人	診察、身長・体重測定	直接会場へ。問い合わせは海老名支所
7か月児健康相談	4月26日(金)	9:30～10:00	健康センター	S59年8月　〃	育児相談、赤ちゃん体操及び家族計画指導	〃　〃　予防保健課
1歳6か月児健康診査	4月18日(木)	13:00～14:00	厚木保健所海老名支所	S58年10月　〃	診察、歯科検診、身長・体重測定	〃　〃　〃
3歳児健康診査	4月19日(金)	13:00～14:00	〃	S57年3月　〃	診察、歯科検診、身長・体重測定	〃　〃　海老名支所
離乳食講習会	4月12日(金)	9:30～10:00	〃	3か月～6か月児	離乳食の作り方・与え方の注意	〃　〃　〃
幼児歯科相談	4月17日(水)	13:00～14:30	〃	1歳7か月～2歳11か月児	歯のみがき方（ハブラシ持参のこと）	〃　〃　〃
子供の整形外科相談	4月4日(木)	13:00～14:00	〃	18歳未満で特に心配のある人	身体障害のある乳幼児の早期発見、治療と療育指導	〃　〃　〃
お誕生前健康診査	対象は生後10か月からお誕生日前日までの乳児。指定された医療機関にあらかじめお問い合わせのうえお受けください。受診用紙は母子手帳別冊についています。別冊のない方は予防保健課					

※健診または相談を受ける方は必ず母子手帳を持参してください。

健康診査（成人病検診）―集団

事業名	月日	受付時間	会場	対象	内容		申し込み・問い合わせ
胃がん検診	4月16日(火)	8:30～11:30	健康センター	40歳以上の人、人員70人	胃部エックス線間接撮影	料金 500円	電話で予防保健課へ
乳がん検診	4月16日(火)	10:00～12:00	〃	30歳以上の女性 午前・午後各100人	問診と触診	料金 600円	〃
子宮がん検診		13:00～15:00			問診、細胞診、内診	料金 400円	〃

フォトピックス

うまく消えた!?

門沢橋自治会で防災訓練

オイルパンに水を入れ、ガソリンを注ぎ火をつける。火炎は二、三㍍にも上る。そして市消防職員の指導で消火器を持った主婦らが次々と消火訓練。いざという時に役立てようと、二月二十四日、門沢橋第一児童公園で住民約六十人が参加して自主防災訓練を行った。

意外と簡単ね
(門沢橋第1児童公園で)

主催したのは門沢橋自治会(会員千十八人)で神部武次自治会長(五〇)は「大変勉強になったと好評でした。またこうした催しで新旧住民の交流がはかられるという違った面での効果もありました」と語っていた。

自治会主催の自主防災訓練は、今回で十三回目。来年度も多くの自治会で開催されることが期待される。

植木の講習会好評

高齢者職業紹介所で開催

市社会福祉協議会の高齢者職業紹介所では、高齢者の生きがい対策として「植木手入れ講習会」を二月十六日に開き、好評であった。

熱心に専門家の技術を学ぶ

職業相談を行っている中で、「生きがいとして何か役立つ仕事をしたい。できれば何らかの収入を得られるものを…」という高齢者の方が多く、今回の講習会を企画したところ、アッという間に定員の三十人が集まった。

同日の講習会は市園芸協会植木部会(金指保会長、会員23人)の協力を得て、カキの木のせん定や鉢物の手入れなどが行われた。受講生はメモを取りながら熱心に質問をくり返していた。

このほか、高齢者職業紹介所では、二月二十四日に「ふすまの張り替え」の講習会も行った。

成果を見て!

有馬高校美術部が校外展

私たちの勉強の成果を見てください、と県立有馬高校の美術部(片桐かおる部長、部員24人)が初めての校外展を二月二十六日から三月三日まで、ニチイ海老名店文化ホールで開催した。

出品は、油絵、陶器、籐工芸など七十点。県高校芸術祭で賞をとった桝屋明子さん(二年)の陶器「私の心」、瀬戸山美和さん(一年)の籐工芸のツボの二点を含む。また鴨志田雅美さん(二年)の油絵「自画像」は優秀作品として、一定期間、県庁で展示される。

指導をしている国安孝冒先生(三)は「こうしたギャラリーに展示されると生徒のはげみになります。これからも機会があれば展示会を開いてゆきたい」と語っていた。

フレッシュな作品がいっぱい

農業を研究発表

市農業研究集会開かれる

時代の激しい変化に対応した農業経営を目指そうと、市農業青年研究集会」が二月二十六日、中河内の市農協南支所で開かれた。

市内の農業経営士会、農協青壮年部、みずほ会の三者が主催したもので、今年で六回目。

発表者の話を熱心に聞き入る

国分の池田靖英さん(四五)は「酪農経営とその歩み」を発表した。池田さんの家では、現在、成牛三十三頭、育成牛八頭で日量約六百㌔のミルクを生産している。「労力は妻と父を入れ三人なので、採算の取れる範囲で機械化をはかった」など酪農家として約三十年の歩みをたんたんと話した。

この他に本郷の清田基治さん(三四)が「落花生の労働調査と改善方法」を、本郷の石川栄一さん(四〇)が「都市清掃施設発生熱源(高座清掃施設組合でし尿を処理する際発生するメタンガス)の有効利用」を、またみずほ会の二見務さん(本郷、26歳)ら四人が去年行った「イギリスの農業研修視察」を発表した。

声のひろば

このコーナーに投書される方は、住所・氏名を明記し、海老名市役所秘書広報課へ。

愛猫家にもの申す

春さきになると人間もうきうきしてくるものだが、近頃の猫の横暴ぶりは、チョット目に余るものがある。

昼間だけならまだしも、夜通し「ニャーオ、ニャーオ」である。然(しか)も自分の家の中で、動きまわったり、啼(な)いているのならまだ良い。他人の家の庭を走りまわる。縁の下にもぐり込む。植木鉢はひっくりかえす。果ては、隙(すき)をみて他の家の中にあがり込み、食卓の上の食物をくわえて走り去る。

飼い猫でなかったら、とっつかまえてセッカンするところだが、首輪をつけたり、鈴をつけたりしていれば、飼い主の心情を思って、余りムゴイことも出来かねる〝若(も)しこれが犬だったらどうだろう〟早速、飼い主にドナリ込んだり、注意を喚起したりするだろう。猫を飼うなとは言わないが、たとえ、犬のように県条例や市条例で飼育法を指導されなくとも、他人の迷惑を考えて、飼い方を考えてもらいたい。去勢するとか、ETC。

それが飼い猫に対する愛情にも通じるのではないだろうか。さもないと、あなたの飼い猫は、暴行が加えられたり、セッカンされたりしても、文句は言えなくなる。お互いに、隣人との融和、町内の人々との融合のためにも、呉々(くれぐれ)も猫の飼い方に気を配ってもらいたい。

◇　◇

保　健所、市役所の方へ!!　に困っている人々も大勢います。然し、犬のような条例がないので、どうにもなりません。飼い主の良心にうったえるより他に、現在では方法がないのですが、当局におかれても、何らかの方法を考慮していただきたく、お願いします。

(上郷・延原慶三)

海老名むかしばなし

第110話　永池川と「よせ」

有馬小学校の坂を西に下った所に永池川が流れている。ちょうど中河内の東端を北から南へと横切っている。昔は曲がりくねった川で、有馬小学校を下ったところには大きな石橋がかかっていた。川幅が二、三㍍、両側に一㍍ぐらいの土手があり、葭(あし)や真菰(まこも)が生い繁げって川幅をせばめていた。

川は浅く流れもゆるいため水はけが悪く、両側の田はいつもどろどろであった。田植えをする時は、また下までつかり、稲刈りにはぬれた稲束を小舟に乗せて運び出した。畦(あぜ)道をつくることもできず「どぶ田」と呼んでいた。

そのような田の中に昔から直径四㍍ぐらいの丸い池があって水が溜(ため)れることがなかった。私たちは「よせ」と呼んでいた。「よせ」の土手の幅は一㍍ぐらいあり、こちらにも真菰が生い繁って池の中が見えないほどであった。

夏休みに海水浴などには連れて行ってもらえない当時は、子供たちは相模川に泳ぎに行った。相模川に泳ぎに行けない小さい子供は、永池川で水遊びをした。しかし川が浅いため、背中が出て暑いので水深が一㍍ほどある近くの「よせ」に入って遊んだ。底はぬるぬるの土のために、大きな子二、三人でやると、すぐににごってしまい、泥水が髪の毛にまでしみこんだ。間違ってこの泥水を飲みこむと、なんともいえない味であった。

当時、伝染病が毎年のように流行したので、洋剣(サーベル)を下げたお巡りさんが巡回してこのような不衛生な水遊びを取り締まった。私たちはお巡りさんが来ると、真菰の中にかくれ、だれだかわからないように顔に泥を塗って首だけ出してだまっていた。すると、お巡りさんは草の中に隠しておいた衣服をもっていってしまった。まさか裸で家に帰ることも出来ず、唇を紫にしてふるふるふるえながら衣服を返してもらいに駐在所に行って、お巡りさんによくしかられた。

夏が過ぎ、秋が深くなると、永池川で小さなエビがたくさんとれた。塩ゆでにすると赤くなり、桜エビとして正月料理に加えたものだった。年末近くになると、毎年のように「よせ」をかいぼり(水をかいだす)すると大小の鮒(ふな)が大きなバケツ一杯とれた。鮒を四、五匹竹ぐしに刺して、炭火の回りに立て、その回りを新聞紙で囲んで乾燥させ、正月のこぶ巻きに使ったり、佃煮にしたりしたほか、汁のだしをとるのに使うためわらで作った弁慶(弁慶が七つ道具を差した入れ物に似ていることからついた)にさして台所につるした。

魚の行商が来ることが少なかった当時としては、泥鰌(どじょう)、田螺(たにし)、蝗(いなご)などと共に貧しかった農村の栄養確保の方法として「よせ」をつくり鮒をとったのかもしれない。

昭和初期、永池川改修工事が行われた。その結果、「どぶ田」や「よせ」はなくなってしまった。いま、永池川周辺に昔の面影はなく、私たちが遊んだ「よせ」は遠い昔の思い出になってしまった。

(中河内の宇田浩さんから寄稿されたもの)